

議会だより



みんなでやりぬこう

河合小学校運動会から

6 月定例会の概要	2～3
一般質問	4～9
管内視察報告	10～11
市民との意見交換会	12
委員会 Q&A	13～16
編集後記	16

6月定例会が24日間の会期で開催

開会 6月12日～閉会 7月4日

本定例会において、予算案件1件、条例の改正8件、指定金融機関の変更1件、財産の交換1件、契約の締結3件、都市公園の区域の決定1件が上程され、原案通り可決・承認しました。

また、一般質問には12人が登壇し市政を質しました。

6月定例会に提出された、予算・条例・報告等の概要は次のとおりです。

◆ 予算関係

平成29年度

一般会計補正予算

2億9254万円の増額

について

- 介護時間の取得期間を給与減額対象として加えるための改正。

◆ 条例関係

専決処分の承認2件

- 飛騨市税条例の一部を改正する条例

- 地方税法の改正に伴う改正。

- 商工業生産設備等に対する飛騨市税の特例に関する条例の一部を改正する条例

- 過疎地域自立促進特別措置法の改正に伴う改正。

改正議案6件

- 飛騨市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について

- 児童福祉法及び人事院規則の改正に伴う改正。

- 飛騨市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

- 飛騨市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例について

- 育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律の改正に伴う改正。

- 飛騨市国民健康保険直営診療所設置等に関する条例の一部を改正する条例について

て

- 飛騨市国民健康保険直営診療所として飛騨市こどものころクリニックを新たに設置するための改正。

- 飛騨市国民健康保険条例の一部を改正する条例について

- 国民健康保険法施行令の改正に伴う改正。

- 飛騨市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例について

- 非常勤消防団員等に係る損害補償の基準を定める政令の改正に伴う改正。

◆ 指定金融機関の変更

- 市の指定金融機関を高山信用金庫から飛騨農業協同組合へ変更する
- 平成29年10月1日から3年間

◆ 財産・契約関係

- 財産の交換について（向町公園）380.4㎡
- 交換の相手方
アルプス薬品工業株式会社

- 請負契約の締結について（仮称）飛騨市宇宙物理学

- 研究紹介展示施設整備実施設計・展示工事

- 契約金額2億9646万円
株式会社乃村工藝社

- 財産の取得について2件

（消防ポンプ自動車）

- 契約金額 4212万円

丸新消防株式会社

（除雪ドーザ）

- 契約金額 1621万円

有限会社中畑自動車

◆ 都市公園の区域の決定

- 百足城跡公園（1.25ha）
- 古川町高野地内

◆ 報告事項

- 平成28年度繰越明許費繰越計算書

- 一般会計 5億591万円
- 下水道事業特別会計 1716万円

情報施設特別会計

535万円

- 損害賠償の額の決定について

- 駐車場で公用車のドアが他車にあたり損傷させたもの。賠償額155,363円

○ 経営状況の報告

- 飛騨市土地開発公社
- (株)飛騨の森でクマは踊る

6 月補正予算の主要事業について

新規

台湾交流事業

事業費 340万円 (主な使途 委託料260万円、旅費63万円など)

概要 ①友好都市提携の締結 ②飛騨市の総合的な文化の発信

10月に台湾・新港郷を訪問し、友好都市提携を締結。

10月から11月にかけて台湾で開催される文化交流展で、飛騨市と新港郷の友好の歴史、飛騨市の祭りや匠文化の紹介、高校生の陶器作品を展示。

新規

障がい者施設整備費補助事業

事業費 3116万円 (主な使途 補助金3116万円)

概要 ①社会福祉法人飛騨慈光会 高山山ゆり園移転新築整備費補助金

②医療法人生仁会 障がい者グループホーム新築整備費補助金

それぞれ施設の新築に対し整備費の一部を支援。

新規

クアオルト健康ウォーキング推進事業

事業費 125万円 (主な使途 賃金52万円、旅費51万円など)

概要 ①健康ウォーキングコースの開設 ②コース案内看板の設置、案内マップの作成

③専門ガイドの養成 ④ウォーキングイベントの開催 ⑤推進体制の整備

上記①から④は太陽生命の支援で実施し、飛騨市では上記を円滑に進めるための体制整備として専門職員を配置、先進地との意見交換等を行う。

その他の主要事業

■ 拡 充	買い物弱者支援事業	300万円	
■ 新 規	富山大学と連携した健康なまちづくり推進事業	227万円	
■ 新 規	広葉樹資源利用調査・検討事業	158万円	
■ 新 規	広葉樹資源活用モデル事業	302万円	
■ 新 規	ロケツーリズム推進事業	378万円	
■ 新 規	短編映画「わさび」先行上映会開催事業	98万円	
■ 新 規	気管挿管認定救命士養成事業	32万円	
■ 新 規	組紐体験文化交流事業	95万円	など

問 飛騨市の地方創生の取り組みについて

答 今年度、飛騨市総合政策審議会を設け、まち・ひと・しごと創生会議の役割も担っていく



野村 勝憲 議員

問 市は平成27年度に、「市民がいつまでも安心して暮らせるまち」の具現化に向け、700万円でコンサルに委託し「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を発表。しかしその内容や進捗状況が市民に示されていない。私

問 新しい交流人口拡大のため、健康ウォーキングコースと交流大使の新設について

答 コースは年度内に2カ所設置を予定し、飛騨市国際交流大使を検討したい

問 飛騨市は固有の自然・文化を活用し、地域資源のブランディング化と地域連携による交流人口の拡大を図るベストタイミングが今。そこで2点質問する。①本年度中に開設予定の、クアオルト健康ウォーキングコース「クアの道」の場所と、

たに総合戦略の「推進会議」を設け、古川のまちづくりでもかかわりのある東京大学の西村幸夫教授にアドバイザーとして参画していただく。

◆都竹市長

◆湯之下企画部長

答 ①「元気で、あんな、誇りの持てるふるさと

飛騨市」の実現に向けた取り組みを柱に地方創生を進めたい。②総合戦略概要版作成は考えていない。

③本年度中に飛騨市総合政策審議会を設け、岐阜大学の高木朗義教授に会長を委嘱する予定。

◆都竹市長

◆柏木農林部長

答 ①本年度は2カ所の

コースを予定し、古川町黒内の「朝霧の森」などが有力候補。ガイドについては有償の実践指導者を含めて9人程度を養成する予定。②新たに飛騨市国際交流大使のような形で検討。新港文教基金会の陳理事長には別の称号が表彰を考えたい。

問 ふるさと納税総務大臣通知への市の対応は、返礼品提供業者にとって拙速ではなかったか

答 返礼品の割合を5割から3割以下に下げた対応等は事後報告であるが緊急性があった



中嶋 国則 議員

問 ふるさと納税の実績は、平成28年度決算額が3億680万円となり、平成26年度の20倍に大きく伸びたが、平成29年4月1日付で総務大臣通知が出され、返礼品の見直しを求めている。飛騨市においては、すぐさまこれに対応し、全国的に見てもトップランナーのように5月2日から寄付金に対する返礼品の割合

①なぜ返礼品提供業者への説明会が開催されなかったのか。

②返礼品の提供業者からの反応は。

③返礼品の新たな品の提

問 飛騨市ゆいの入浴施設3館の共通利用券発行により入館者のアップを

答 3館共通利用券を7月中旬に販売開始すると同時に3館共通のポイント特典制度を実施する

問 飛騨市ゆいの運営について伺う。

③施設の外観整備を。特に駐車場の舗装。

◆東総務部長

◆湯之下企画部長

◆泉原商工観光部長

①入浴施設3館を利用した場合の特典制度により集客アップを。

②まんが王国の交流人口

供による寄付金の増額を図るべき。

④企業版ふるさと納税について。

◆都竹市長

◆湯之下企画部長

答 ①全国的に返礼品競争が過熱し、都市部を中心に強い批判がある。通知を守ることで制度を守り、返礼額を下げた新たなノウハウを得る事が得策と判断した。

②残念である旨の反応も一部にあったが、むしろ積極的に新商品登録の申し込みがある。

③新商品の登録について積極的に取組んでいる。

④平成29年度は、宙ドーム改修整備事業に1500万円の目標である。

答 ①共通利用券と同時

に、3館共通のポイント制度により、無料入浴券や粗品のプレゼントを実施する。

②新たな魅力付けが不可欠との考えで研究中。

③限られた財源の中で優先順位により実施する。

一般質問

問 古川町内の「道の駅」について、飛騨市の玄関口として市が主体的に関わることが出来ないか

答 重要な施設であり、重大な関心を持っており、状況を把握し、早急に対応案をまとめたたい



中村 健吉 議員

問 古川の「道の駅」は求められる機能を果たしているとは言えない。早急

答 市の玄関である「道の駅」は、市にとって重要な施設であり、重大な関

に改善する必要に迫られている。市が課題解決に積極的に関与し、運営に関わる時機でないか。

問 サン・スポーツランド野球場を、高校野球の公式試合ができるように改修できないか

答 高校野球は支援したいが、他のスポーツ施設も多く、限られた財源内では厳しいものがある

問 飛騨地区には、高校野球の公式戦が開催できないか。

◆清水教育委員会事務局長
答 開催条件を満たすために大規模な改修が必要

問 魅力ある地元高校づくり事業について、市が今後やれる大切なことがあるのではないか

答 国が求める人材を育成する支援の取り組みを広くPRすることで全国に誇れる高校創生につながる

問 現在飛騨市が行っている地元高校づくり事業はすばらしい成果をあげている。その実績は全国の高等学校が抱える問題の解決策ともなる。今後、市が中心になって県・国

に対し高等学校創生を訴えるべきではないか。

◆都竹市長

答 高校時代に地域の課題を学び、職業観、地域観を養うことが、地元就職・Ｕターン等の可能性

心を持つている。土地は市が所有し、建物は民間業者が所有・運営してきた実情がある。現在のように施設が空いたまま放置されることだけは、絶対に避けたい。今後の運営について、いくつかの選択肢から現状をリアルタイムで把握し、所有者と連絡を密にして早急に対応策をまとめたい。

要。高校野球は大いに支援したいが、市内には整備が望まれるスポーツ施設が多く、限られた財源の中で優先順位を検討しなければならぬ状況にあり現実的には厳しい。

を増し、結果的に、国の求める人材を育成することにつながることを確信している。市は、地域と高校をつなぎ、あらゆる機関（企業・大学・専門学校等）と連携し将来求められる人材育成を支援する。それを広くPRすることで全国に誇れる高校創生につながることを確信している。

問 買い物弱者支援策は

答 JA代替策を吟味し、支援を考える



森下 真次 議員

問 市では、弱い物弱者の買い物の機会を確保するため、移動販売を行う

対する声は。③買い物環境の整備推進は。

◆ 都竹市長

◆ 柚原市民福祉部長

答 ① 飛騨農協全体でA

コープ事業が大変な経営赤字となつてゐるため、袖川と森茂の2つの営業所を廃止、古川・河合・宮川・杉崎・信包各支店の生活・営農資材店舗も閉鎖するとの方針を聞いた。市では代替策を示した。地元の皆さんに丁寧に説明してほしいと伝えた。

市は今回のJ A改革によ

り、次の4点が課題と考

えている。
(1) 店舗がなく

なり、
買物に不便をき

たす。関係するすべての

地区に共通する課題であ

り、車で移動できる方は

いいが、高齢者でそこを

利用されている方は不便

をきたす可能性は高くな

るので、しっかりと取り組

も考えた。
(2) 金融機関の

問題で袖川にはATMが

残るが、山之村地区にはATMがない。代替策をしつかり講じてもらうよう、農協に申し入れる。

(3)山之村地区のスタンドが閉鎖計画のため、何とか現行の形で継続するよう農協へ働きかける。困難な場合は支援策を農協と協議していきたい。(4)山之村小中学校調理場・河合給食センターの食材調達に影響がでる。特に山之村は問題が大きく、公共交通を活用した運搬などを含め、最善の方法を選択していく。河合では食材購入・配達方法は代替案を検討する。②燃料費等補助は非常にありがたく、この補助金があるので続けることができるとの声を聞いており、引き続き支援の充実を検討する。③現在ある移動販売車サービスも含め、カタログ注文による宅配サービス、地域集会所を活用した店舗の出張サービスなど、複数を組み合わせる形で、引き続き、支援の強化を図る。

問 行政評価を取り入れた決算審査資料を

答 飛騨市型の行政評価ができればよいと思う



高原 邦子 議員

問 総務省が各自治体へ

新地方公会計制度による
統一的な基準での財務書
類等の整備を要請してお
り、飛騨市も作成してい
る。①財務書類の活用・
利用については、どこに
重点を置いているのか。

②歳入歳出決算書では説
明しきれない部分に対応
できる決算資料があると
よいがどのように考える
か。③新地方公会計制度
に対応できる職員が増え
るとよいが、職員の対応
能力向上をどのように考
えているか。

◆都竹市長

◆東総務部長

答 ①市民への説明責任
の向上、マクロ視点での

問 減額・廃止した事業も予算時に説明を

答 来年度の当初予算編成時には説明しつつ

問 市長との意見交換会
で、公民館への補助金力ッ
トなどについて、対等合併
にも触れた市民感情が吐
露される場面があった。

納得してもらうことが大
切である。どのように対
処されるのか。

◆都竹市長

答 合併以来、船坂市長
の時も井上市長の時も綿
綿と議論されているテー
マであって、どちらが正
しいと言い切れない。い
ろんな議論の中で決まっ
てきていることであり、

等が明かされてこなかつ
たことが問題である。市
民への説明やその中身を

指標設定、セグメント分
析に利用。②反省点の記
述を加え、政策の見直し
や新年度の施策への反映
していくため、決算認定
資料を一つの評価資料に
していく。改良を加えて
具体的な課題、将来の方
向性が見える資料の提供
を行う。③税理士法人に
よる職員研修の実施。財
政担当職員には、より専
門的な研修会等に参加さ
せて育成し、公会計への
対応能力の向上を図る。

議論のプロセス、決断に
至った市長の考え方を述
べていき、理解を得てい
くことが大事。そのよう
な努力をしてゆきたい。
私はAかBではなくC
だというように違う道を
探していく思考。一律に
補助するのではなく、具
体的な中味に応じて支援
をしていく。従来の補助
制度にはまらないのであ
れば新たな補助制度を検
討していくことも必要と
考えている。

問 消雪の整備・流雪溝改修工事の進捗状況は

答 地域の要望で改修や補修を実施する



前川 文博 議員

問 半年後には雪の季節
になる。今年の大雪でい
くつか課題が浮かんた。

①川西地域の消雪装置で
水の出ない箇所がある。
ここ数年水量が減ってい
る。原因の究明と対策は

どうなのか。②流雪溝の
老朽化で雪詰りが発生。
過去の工事で流雪溝より
家が低くなったところで
は床下浸水の被害もあっ
た。蟻川・西里も道路が
川のようになる。以前、
計画的に改修するとあっ
たが計画はどうなのか。

◆青木基盤整備部長

答 ①雪の溶けていない
箇所約50mを確認。昨年

問 JA営業所閉鎖の影響は

答 今後の議論を総合的に判断し、最善の方
法を選択する

問 山之村地域は市街地
まで約18km。40分必要。

生活に直結する重要な問
題。①ガソリンスタンド
機能はどうなってしまう
のか。②金融関係はどう
なるのか。③学校給食の
食材はどうなるのか。

**問 成人式の日程について
(市内統一時間での開催)**

答 神岡会場も午後2時式典開始に変更する

問 神岡会場の式典時間
が早まり、新成人の準備
(着付け・セット)が早朝
(朝3時頃)からとなり負
いか。

担当増大。主役の新成人
を中心に考え、市内統一
で午後2時開始にできな
いか。

の水量調査で井戸の水量
があることは確認した。
散水量の少ない区間は、
管路内の状況確認や送水
量を増やすことを検討す
る。②水路勾配が一定で
ない箇所、老朽化による
水路底面や側面に破損が
ある箇所を確認した。水
路幅が広く大型のグレー
チングが老朽化によるゆ
がみで、人力では取り外
しできない箇所もある。
補助事業を活用した改修
を検討する。

◆湯之下企画部長

◆清水教育委員会事務局長

答 ①安定した燃料供給
体制の維持が重要。対応
を考える。②JAに代替
策を申し入れていく事が
重要。③公共交通「山之
村線」で食材を運搬する
ことも考えられる。

◆清水教育委員会事務局長

答 ①主役である新成人
のことを考え、主催者の
都合よりも新成人の準備
時間などを最優先に、同
時間内で実施したい。

問 神岡小学校外トイレについて

答 今回の指摘を機に取り壊す



仲谷 丈吾 議員

問 ①神岡小学校外トイレがとも古く苦情が多い。私が小学生だった25年前にも古く感じたトイレで、苦情の内容は「夏場は臭いと虫がひどい」「小さい子供が落ちそうに

なった」「汲取式なので物を落としてしまう」「我慢できない子供は蟻川公園トイレまで車で乗せていく」等だ。子供達が快適にスポーツをできる環境作りは大切。1日も早い改修が必要と思うが市の考えは。②グラウンドを利用するスポーツ少年団の方々と話し合う機会を設ける考えは。

問 飛騨市内の公共トイレの見直しについて

答 多額の費用がかかるが、優先すべき箇所から改修していく

問 トイレが清潔かどうかで、まちの印象が変わる。市内の公共トイレを見直すべきでは。

◆青木基盤整備部長

答 現在市が管理するトイレは170カ所以上ある。特に汲取式から洋式トイレへの転換を中心に考えている。市が所有する汲取トイレは現在12カ所。そのうち利用されて

いる3カ所については改修を進め、未利用の7カ所については廃止する。方向性が決まっていれば2カ所については今後検討していく。昨年はまつり広場横の御旅所トイレ、神岡宙ドームのトイレ、神岡町公民館のトイレの3カ所を2500万円に改修した。今年度は旧奥飛騨温泉口駅トイレ、

◆清水教育委員会事務局長

答 ①老朽化が激しく下水道接続するにも多額の費用がかかる事、防犯上の懸念がある事、借地に建っている事などから、今回の指摘を機に取り壊す方向で進める。代替えのトイレは神岡小学校体育館のトイレを使用していただく。今後体育館の鍵の受け渡しや施錠確認などの必要事項を検討し利用者に説明していく。

②当該団体、それ以外に使用される一般の方との話し合いの場を設けたいが、市の方針をお伝えして進めたい。

市役所駐車場横トイレなど8カ所を2200万円の予算で改修する計画。障がい者や介助が必要な方の利用頻度が高い多目的トイレはユニバーサルベッドを設置する事とし、昨年は神岡宙ドームトイレに設置し、今年は市役所横トイレと古川駅前観光案内所トイレに設置を予定している。

問 移住定住施策について

答 移住者の賃貸住宅家賃補助については、希望者のニーズを把握し、年齢制限の緩和を検討したい



住田 清美 議員

問 人口減少対策として移住者に期待するところが大きい。移住にもさまざまな形態があり、対象者も多様である。どのような切り口で施策に反映させるのか。転入者が民間賃貸住宅に居住の場合、賃貸住宅家賃補助金がある

が、年齢制限が設けられている。シルバード世代の移住者にも幅広く対応できないか。さらに移住者に寄り添うため、専任の移住コンシェルジュの配置について検討してはどうか。①移住定住施策の方向性について。②「飛騨市住むとコネット」の運用について。③賃貸住宅家賃補助金について。④移住コンシェルジュの配置について。

問 手話言語条例の制定に向けて

答 さまざまな障がい児者に対応できる条例制定に向け議論を深めたい

問 障害者基本法の改正で手話を言語として認める法律ができ、各自自治体では手話言語条例の制定が進められている。手話への理解を深め、「あんきに暮らせる飛騨市」の先駆的な取り組みをしてはどうか。①聴覚障がい者への対応について。

◆市長

◆柚原市民福祉部長

答 ①手話通訳者等派遣事業については、設置通訳者を置いたこともあり、すべての申請に派遣できた。②条例については、例えば

◆湯之下企画部長

答 ①当市の知名度や外部評価は少しずつ高まっており移住につながりたい。また、今年度移住サイトの更新を予定しており、移住者目線でのサイト構築につとめる。

②市と宅建業者との役割分担のもと情報共有し対策に万全をつくす。③年齢制限の緩和、もしくは撤廃については移住定住を促進する観点から、ニーズを把握し検討する。④専門的な知識を有する方がいれば、嘱託職員として雇用するなど配置を検討する。

「障がい児者にやさしいまちづくり条例」などという総合的なものを考えていきたい。その中に手話は言語であることも含めて考えたい。③入門・基礎課程修了者に対し登録制度を設け、手話通訳者の資格取得につなげたい。また、手話通訳者養成講座の受講経費の支援も検討したい。

問 公民館について

答 神岡の公民館活動は基礎的なまちづくり活動であり、その活動の中心に据えつつは、



徳島 純次 議員

問 公民館は社会教育法に「地域住民の為に、実際に生活に即した教育、学術及び文化に関する各種の事業を行い、もって住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与する。」と規定されている。これに基づき神岡では、各地域に公民館が設置され、元気で明るく住み良い地域づくりを目指して活動している。①公民館への補助金は、平成28年度は〇円となっている。地域住民相互の連携と親睦を図り、福祉、生活環境、防犯・防災など「まちづくり」の拠点として地域の活性化と元気の出る地域づくりの一翼を担っている。

る地域公民館に対し補助金を復活できないか。
②市の公民館と地域公民館は地域づくりの両輪である。地域公民館は、公民館に類似する施設に相当する自治公民館に該当するが神岡の公民館の位置づけは。③公民館は地方創生の担い手として、地域住民と協働し、「まちづくり」の拠点施設という役割が考えられるが市の考えは。

◆都竹市長

答 ①公民館への補助金は合併以来の制度統一の流れの中で、分野別に団体を經由して補助が行われる仕組みに変わった。この支援の枠組みに当てはまらない活動については「小さな町づくり応援助成金」により支援を行い、これにも該当しないものは、その内容に応じて支援策なり補助制度を検討する。②神岡の

公民館は、社会教育法に規定する公民館類似施設に相当する自治公民館であり、活動内容は福祉、

防災、育成会、スポーツ、

生涯学習で、これらはい

ずれも基礎的なまちづく

り活動で、地域の活性化

と、元気づくりの一翼を

担っている。③防災、福

祉、育成の活動は地域に

おいてしかできない活動

で、地域公民館に継続し

ていただくように引き続

き支援していく。少子高

齢化や過疎化等により人

材不足等が発生し、組織

力が低下して地域公民館

の機能が低下する。この

機能低下を市の公民館が

代替をして補っていく、

問 市の防犯対策について

答 防犯に対する多面的な取り組みの中で、安全安心なまちづくりを実現する



澤 史朗 議員

問 アニメ映画「君の名は。」の聖地巡礼、古川祭のユネスコ登録、レールマウンテンバイクの人気などで、国内外から多くの観光客が訪れ、まちは様変わりしている。

問 ①主要事業の中に姉小路氏関連城館群整備活用事業、江馬館整備活用事業があるが、市の保存管理及び活用の方針を問う。②市民憲章に「文化が薫る活力とやすらぎのまちをめざし」とあり、また市長がめざす「誇りの持てる飛騨市」にするために文化振興指針の作成を求める。

①あんな町を守るための防犯対策は十分か。市は県下で最も犯罪が少ないがゼロではない。②犯罪の抑止と安全安心なまちづくりのために公共駐車場などに防犯カメラを設置してはどうか。
◆都竹市長
◆東総務部長
答 ①市ができること、やるべきことは徹底した

注意喚起と啓発であり、市内パトロールや見守り隊活動、飛騨警察署と連携して同報無線やSNSでの注意喚起などを実施している。多面的な取り組みの中で安全安心なまちづくりを実現していきたい。②窃盗や器物損壊等の犯罪は「見られている」という状況を作れば抑止できると考える。市民が安全に生活でき、旅行者も安心して観光できるよう、防犯カメラの市の公共施設への設置と民間施設における設置支援も併せて検討する。

会の専門的見地で山城の持つ意味ある史跡整備を進めていきたい。②文化振興の方向性をわかり易く条例や指針で示すという提案は傾聴に値すると思う。考えており、様々な分野でどのような要素があるのかを掘り起こし、振興策を議論する切り口ができた段階で、文化振興条例あるいは指針策定の準備に入っていきたい。

一般質問

問 飛騨農業協同組合の店舗統合について、飛騨市の対応策は

答 買い物弱者支援と、金融機関の維持等問題解決に取り組む



河口 和彦 議員

問 地域の生活の要とな

っている農協の継続と代替策について市の考えと取り組みを伺う。①農協第2次整備計画の変更

策と地域要望に対する市の対応策は。③地域集会場の在り方は。④飛騨市利用金融機関に郵便局の利用拡大を。

◆都竹市長

◆東総務部長

◆湯之下企画部長

◆柚原市民福祉部長

答 ①農協自らの判断で経営合理化する流れに関

問 飛騨市下水道事業経営戦略について

答 安定した下水道サービスを提供するため、利用率維持・経費削減・施設統合で経営基盤を確立する

問 人口減による維持管

理や老朽化により集中する更新を計画的に行う事

により、経営基盤の確立を図り、持続して安定し

た下水道サービスを提供するための経営戦略の概

要と施策と取り組みにつ

いて伺う。①下水道事業整備の完了は。②水消化

率と需要の動向は。③経営の健全性・効率性は。④課題と取り組み。経営

の効率化、老朽対策は。

策定は。

◆大坪環境水道部長

答 ①国道41号関連事業

と同時進行、完了までに約3年要する。②平成38

年度水消化率を88・5%と予測、促進には融資の

斡旋や半分子助成。人口減、節水器具の普及、昼

間利用の減少による下水需要の減少。③浄化力補

与するには限界がある。市民が生活に不安をきたす事態にはそれを守るべく対策を講じる。②農協

の代替策が地元の既存サービスと共存できるよう調整する。移動販売は

現行補助制度利用で拡充。宅配サービスは包括的な

買い物支援策として、支援のあり方を検討。③活

動拠点の集会場は身近な所であり、気がねなく使

用できることが重要な要素。集落有施設整備補助

金で支援。④補助金等の受取りが可能。

強事業で運搬費、薬品代等営業費用の削減を目指す。接続件数を増やし利

用率を上げる努力。効率的な事業運営のために施設統合を検討。④未整備

地区の整備方針、市内施設の統廃合の検討し方針を出す。来年度資産管理

計画を策定しその後、更新計画作成予定。⑤今年度、水道資産管理と併せ、

水道事業経営戦略を策定する予定。

問 古川町まちなか整備計画検討委員会の提言の推進について

答 この提言を基軸にしながら順次検討していく



森 要 議員

問 平成29年6月1日に

古川町まちなか整備検討委員会の提言があつた。

賑わいのある魅力的な観光地飛騨古川にするため

問 耕作放棄地の利用促進について

答 耕作放棄地利用最適化推進委員にて検討をしていきたい

問 ①飛騨市における耕作放棄地の現状を市はど

こまで把握しているか。②耕作放棄地利用促進検討委員会を設置する考え

はないか。

◆柏木部長

答 ①荒廃農地は過去5

問 新規就農者への支援について

答 新規就農者支援を拡充していきたい

問 飛騨トマト研修所で

新規就農者の育成をされ

の整備計画であるが市の見解と、今後の取組を伺いたい。

◆都竹市長

答 この提言書はかつて

古川町時代の若い方々、青年会議所を中心とした

町づくり提言に匹敵するもので、メンバーの方に

お礼を言いたい。提言の

重点整備地域として、式之町通りの空き家・空き

地を活用した「町の博物館」の実現が示され、野麦

峠に関わる資料展示や町の歴史資料展示、暮らし

に関わる展示など「まちのギャラリー」の実現が

盛り込まれている。この提言は、私自身が思っ

ていた課題と極めて問題意識が酷似しており、この

提言を基軸にしながら順次、町並み整備を検討

していきたい。

に「耕作放棄地」になる可能性がある。

②昨年7月に設置した、「農地利用最適化推進委

員」がある。今後は、商工や福祉等の異業種関係者

も加わることが出来るような組織として検討して

いきたい。

◆柏木部長

答 他市町村で効果のある事例なども調査しなが

ら、支援を拡充していきたい。

産業常任委員会 管内視察報告

産業常任委員会が6月6日に実施した管内視察について委員の感想を交え報告します。

①古川清見線改良工事

東海北陸自動車道、清見インターチェンジへの最短アクセス道路として古川町平岩地内に建設中の県道で、今秋に供用開始予定。事業費のうち橋梁工事が約10億円で、14.9mの湾曲しているPC3径間連続ラーメン箱桁橋、片持架設工法により施工している。未着工の第2工区が残るが、早く全線を完成させ、地域住民の利便性向上を図っていただきたい。



新たに建設された橋梁

②トマト研修施設

古川町信包地区にあり、飛騨市も連携しているJAひだ飛騨地域トマト研修所。現在3期生を受け入れ中で、「月火水木金でトマトに勝つぞ!」との標語とおり農業は厳しいとの意識付けからスタート。Ｉターンの若い青年が一生懸命作業されていた。ぜひ、飛騨市で根付いてほしい。

③イバタインテリア



ショールームのようす

飛騨の家具ブランドのダイニングテーブルセットを主に生産しており、工場の2階・3階に常設のショールームがある。一般の人が気軽に見学できない場所なので、街なかの空き家を利用したショールームを開設すれば、人の目に

触れる機会を増やし、地場産業を盛り上げるための協力ができるのではないかな。

④道の駅 宙ドーム神岡

スーパーカミオカンデでのニュートリノ研究を紹介する展示施設改修と物販棟新築計画の説明を受ける。世界的に珍しい施設となり、展示棟は学術的観点から学芸員相当の人材を配置予定。建設費総額約4億5千万円、入場無料の予定であるが入館料を徴収してもよいのではないかな。飛騨市へ来たら必ず立ち寄るような場所になることを強く希望する。



展示施設建設予定地

⑤森林組合高性能林業機械 神岡町山之村地区にある作業現場を視察。人手でしていた作業が機械1台で全てで

き、1本の木を切倒し、枝払い、検尺、玉切りまで、要する時間は約1分30秒。若い作業員が多く、効率が格段に速くなっているが、林業先進国のドイツと比べ日本の人工林の林道整備率は非常に低い中、今後高性能林業機械需要が高まるものと感じた。



高性能林業機械(ハーベスタ)

⑥森茂牧場

山之村牧場への移動中に車内で担当者から説明を受ける。国と県の費用で草地の整備改良をしているが、20年前に設置した柵が壊れており牧場として機能しない状況であり、早期の改修が必要。天空の牧場で放牧してストレスのない環境で牛を育てるのが一番だと感じた。

⑦山之村牧場

森茂牧場との立ち位置がわかりにくい。今後この形態を継続するのか判断が必要であると感ずる。JAひだ森茂営業所が廃止されるのを機として山之村全体の将来の構想を地元住民、特に若い世代として生計が立てられるよう行動に移さなければならない。

⑧神岡公共下水処理施設

神岡町東町にある神岡公共下水浄化センターは、民家に近いことから施設全体が密閉式なので殆んど臭いが無いことに驚いた。人口減少の続く中、料金収入の伸び悩みなど、検討課題が多いと感じた。



処理槽の屋上を視察

総務常任委員会 管内視察報告

6月13日に実施した、総務常任委員会の管内視察について、委員の感想を交え報告します。

①浸水危険箇所（河川の氾濫による浸水被害の恐れのある場所）のうち3箇所

●古川町谷地内

（吉城生コン付近）

●河合町角川地内

（河合小学校付近）

●宮川町岸奥地内

（JR鉄橋付近）

宮川本川沿いで支流河川が合流するこれらの地区は、浸水被害を受けやすい地形にあり、平成16年の豪雨災害時には甚大な被害を受けました。

また、それぞれの地区内で住宅地・農耕地・学校・交通要所となっている場所でもあります。過去の被災経験を生かした防災対策はもちろんのこと、飛騨地域の上流河川との連絡を密にして、危機管理を進めることの重要性を実感しました。

②飛騨みやがわ考古民族館



館内展示物のようす

この施設は、平成7年に民俗資料館の「伝習館」、宮川町洞地区にあった「旧中村家住宅」、国指定有形民俗文化財をはじめとする「民俗資料収蔵館」がまとめられ開館した施設です。現在は予約制による開館ですが、館内には旧宮川村を中心に旧石器時代から近代にいたるまでの、考古資料、民具・民俗資料が収納・展示され、国指定有形民俗文化財をはじめとする民俗資料約一万六千点が収蔵されています。

飛騨地区の歴史を確認でき、飛騨に対する理解をより深め市民が誇りを確認できる施設です。全国に向けて飛騨の魅力を発信できる文化施設の役割を担っており、今後の活用が重要と感じました。

③まんが王国

鉄筋がむき出しになったところがあり、建物の老朽化を感じました。指定管理ではありませんが、公共施設の再編も自治体経営の大きな視点から公共サービスの質の維持と施設総量縮減の両立を目指していかねばならないと感じました。

④夢館

今年から地元住民のコミュニケーション施設として利便性の向上を図り、外部からの利用集客も可能となるように、現在改修工事を行っています。建築後二百年を経た家屋の補修には経費がかかりますが、有効利用できるよう、今後の活用計画が大切と感じました。



改修中の建物内

⑤宙ドーム神岡

先端科学都市構想を掲げ、「道の駅 宙ドーム」に研究者の意見を取り入れた展示館を作る計画が決定し、その工事に向けて作業が進められています。完成後は郷土の土産品を含め、観光面で飛騨市全体の情報発信基地となり、全国唯一の紹介・展示施設であり続ける運営を期待します。

⑥神岡商工会議所

今春、旧神岡図書館の跡地に開設された新事務所は、静かな環境の中で、充実した設備が館内に整備されていました。今後、従来に増した活用がされることを期待します。

⑦小島城跡

姉小路氏関連山城跡整備活用事業が今年度から始まりましたが、小島城跡は永年にわたり地元住民が保全活動に携わっておられます。この城跡は今後、飛騨市の文化遺産発掘の中心拠点となります。市民が郷土の歴史認識を深め、誇りを抱きつかけともなる史跡です。観光事業との関係を保ちながら、飛騨市の文化

価値を示してもらいたいと感じました。



現地での学芸員の解説

⑧ハートピア古川

組織改編に伴い、医療・介護・福祉の窓口が一元所に集約されました。多くの担当部署と人員が配置され、当初は多少戸惑いましたが、現在は機能的に融合した動きが確立され、充実した市民福祉生活を支援・補佐できるよう、職員の懸命な姿が見受けられました。また、今秋開設される予定の、「飛騨市こどものこころクリニック」については、現在整備工事が行われており、飛騨市のみならず県外を含む周辺地域の注目の的となっています。

（委員長 高原 邦子）

市民の皆様との 意見交換会

市民の皆様と議会との意見交換会を、7月20日から25日にかけて、市内3会場で開催しました。今回はテーマを「産業の活性化について」と設定し、皆さまからのご意見を頂戴しました。各会場とも、いろいろなお話を伺うことができましたのでその一部を御紹介します。

7月20日 木曜日 河合会場（来場者19名）



河合会場

- ポニーカー料金の地域間格差解消を。弁天橋を渡るだけで100円高くなる。
- 北飛驒商工会の借用料算定

について、光熱費の割り勘が高いのでないか。

- 国道471号檜峠。平成18年から通行止めのまま。
- 天生峠の春の開通を早く。
- 古川土木と高山土木の連携が不十分。
- 河合橋の架け替えを。
- 議員数を削減して報酬額を増やしてはどうか。
- 人口減少のくい止めを。
- 公共交通の不便さに、よそから来た者は驚く。
- 移住者の受け入れ態勢を整えてほしい。
- 耕作農地が減少し地域がなくなっていく。
- 農地が担い手に集約しているが担い手も心配。
- 農地の管理が、土地所有者でも把握できていない。
- ドローンを消防団に取り入れては。災害時の活用に。
- 意見交換会の会場は各町でやってもいい。人数は少なくとも出席率が高い。
- 消防団が減っている。消防署員は減らさないでほしい。
- 地元建設業の確保を。除雪や災害対応ができない。
- せっかく確保できた紙漉き後継者へ仕事を。

7月21日 金曜日 神岡会場（来場者21名）



神岡会場

- 最近の豪雨災害で山田川が心配。
- 地震への備え。神岡橋梁の耐震性は大丈夫か。
- 飛驒ゆいの経営状況は。
- 名鉄タクシーの終業が22時30分になり不便になった。
- 宙ドームに展示施設を整備すると駐車場が不足する。
- 宙ドームの展示内容の情報開示を。施設は無料で。
- 高原郷土館の入館料について旅行者へのリベート導入できないか。
- 耕作放棄地の管理不足。隣の人が草刈をしている。
- 山田川はどれくらいの雨量であふれるか知りたい。
- 新規就農者への補助制度は

あるが後継者への補助もしてもらいたい。

- すべての原因は人口減少にある。人材確保対策を。
- 空家対策で管理者へ連絡したいがわからない。
- 議会だより53号編集後記の「さらに疑惑が」とは何か。
- 百条委員会は説明が十分でなかったがやって良かった。

7月25日 火曜日 古川会場（来場者23名）



古川会場

- 提出した意見書の扱いについて。
- 指定管理施設への助成は。
- 神岡行深夜バスのその後の進展は。
- 空家をシェアハウスに活用できないか。
- 小規模企業振興条例を市で

も制定を。

- 外貨を稼ぐには製造業・観光業が重要。
- 人材不足を解消するため、外国人研修制度を活用したい。通訳への助成を。
- 議会のインターネット中継の実施を。
- 議会のチェック機能を發揮してほしい。
- 市にビジョンがなく財産を活かせていない。議会と市民が一体となってやるべき。
- 耕作放棄地が多い。議員も5畝でも1反でも耕作を。
- 空家の売却希望者が農地も同時に処分したいが農地法で出来ない。
- Fab Cafeは地元とのコンタクトとれているか。
- 地元高校から地元就職者が少ない。起業者を出せるような学校を。
- フリーWi-Fiの使える場所をもっと広げてほしい。
- 議員数を減らして報酬を上げては。
- クリーンセンター火災の修理費負担はどうなった。
- もっと議員と話せる機会を増やしてもらいたい。

委員会Q&A

総務・産業の各常任委員会、予算特別委員会に付託された案件の審議内容の一部をQ&Aにて掲載します

総務常任委員会

◆議案第57号

飛騨市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について

児童福祉法及び人事院規則の改正に伴う改正。

Q 飛騨市の場合はこの休暇を100%取れるか。阻害されるようなことはないか。

A 6月1日現在7名取得しており、短時間勤務、部分休業者が3名いる。

Q 浸透して増える傾向にあるか、それともこのくらいの人数で推移しているか。

A 人事給与係で相談を受けた際には、極力スムーズにとれるよう説明している。職場環境も理解は深まっている。

Q 追加された養子縁組里親の規定について説明を。

A 児童福祉法の改正によつ

て養子縁組里親の名称が規定された。里親には研修義務と欠格事項が設けられている。

◆議案第58号

飛騨市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について

介護時間の取得期間を給与減額対象として加えるための改正。

Q 改正で新たに規定された介護時間について説明を。

A 1日2時間まで取得できる。毎月の取得時間を合計しその月の給与から減算する。

◆議案第60号

飛騨市国民健康保険直営診療所設置等に関する条例の一部を改正する条例について

飛騨市国民健康保険直営診療所として飛騨市こどものころクリニックを新たに設置するための改正。

Q こどものころクリニックの開設備は順調に進んでいるか。

A 工事は保健センターで健診や行事のある日は休止してもらっているため、工期が延びる可能性は想定している。新たに赴任いただく先生は、お盆頃にこちらへみえると聞いており、10月の早い時期に開設できる予定。



クリニックへの改装工事

Q こどものころクリニックに対し期待も高まってきているが問い合わせはあるか。

A まだPRしていないので診療開始などの問い合わせは今のところない。先生と打ち合わせができた時点ですっかりとPRをしていきたい。

◆議案第62号

飛騨市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例について
非常勤消防団員等に係る損害補償の基準を定める政令の改正に伴う改正。

Q 今回の改正で加算額が子供の場合、孫の場合でいろいろと変わるようだが、場合によっては元より少なくなる場合もあるのか。

A 基準額が国のほうから示されており、子供に関しては少し増え、配偶者に関しては少し減っている。

◆議案第61号

飛騨市国民健康保険条例の一部を改正する条例について

国民健康保険法施行令の改正に伴う改正。

Q 改正により低所得の軽減措置対象世帯が増加することだが、飛騨市で該当する率は他の市町村と比べてかなり多いのか。

A 飛騨市の特徴として65歳以上の方が国保被保険者に占める割合が50%を超えて

おり、県の中でも特異的な状況。年金生活者が多く、この軽減を受けている方の割合も必然的に高い状況。

Q 軽減措置の対象世帯を拡大する原因というのは何か。

A 今回の改正は、国の制度に伴う改正。国が低所得者の軽減をいろんな社会保険制度で進めているのでその一環という理解。

◆議案第63号

飛騨市指定金融機関の指定の変更について
高山信用金庫から飛騨農業協同組合へ変更する。

Q 指定金融機関が4つの金融機関で輪番ということですが、市内にはゆうちょ銀行、富山第一銀行もあるが、これらは検討されたことはあるか。

A 富山第一銀行については平成15年に協議し、特に希望がないとのことで現在に至っている。ゆうちょ銀行はゆうちょ銀行以外の金融機関がある市町村は指定できない。

Q 市民への告知はどのようなものか。

A 県内の金融機関や市町村

関係全てに告知して作業を進めている段階。

Q 農協は多角経営されていて、多角的にやってみえるほかの事業についても、市民から信頼度を高めてほしいというような申し添えは可能か。

A J Aとしてもできる限り努力したいということで、地元密着、地元の衰退防止に努力したいと聞いている。

産業常任委員会

◆ 議案第64号

財産の交換について

(向町公園)

向町公園に隣接する工場拡張計画に伴う土地の交換。トイレと遊具の移設費用は相手方負担で行う。

Q 地元区の了解を得たとあるが、ゲートボール利用者への支障はないか。

A シニアクラブの了解を得ており、トイレをゲートボール場の近くに移設してほしいとの要望も聴いている。移設費用は相手方が負担する。

Q 交換ではなく売却するこ

とはできなかったのか。

A 都市公園法16条により、みだりに都市公園の区域の全部又は一部について都市公園を廃止できない。また、交換によって取得する土地は現在駐車場で、公園利用者の駐車場として利用する予定で、利便性向上と路上駐車解消も図れる。



向町公園と交換取得した駐車場

予算特別委員会

6月補正予算審議

総務部

Q 今後の神岡地区の区長会等の在り方についての考えは。

A 自主防災組織として無理のない小規模な単位での組織化をお願いしたい。

Q 今後は各区で連合会に入る方向になるのか。

A 地域の実情に合った形にしていければ良いと考える。

Q 6月25日に緊急地震速報が流れたが、追加情報は無かった。地震が発生した時に具体的な注意事項の放送を。

A 緊急地震速報が出たが、実際の震度が小さく、状況確認のみで終わった。市民に対して放送後の情報が無かったことは反省点。今後は市民への情報発信を心掛けて対処したい。

Q 消費税増税を控え今後の補正をどの様に組まれるか。

A 9月補正の政策協議はこれから。経済対策は今後検討する。

Q 今、飛騨市内・経済界で何が求められているか、しっかりと把握し対応する考えは。

A 経済対策には国レベルと地方レベルの経済対策がそれぞれある。飛騨市の市税の中で法人市民税の占める割合はたばこ税より若干多い程度。飛騨市は、国全体の経済変動の影響を税収が受け難く、地方財政計画全体の中で交付税まで含めた変動を見なければ

ならない。市内の経済対策として消費刺激策を打つのは財源が無い中では難しい。対策として効果の高いもの(過去のプレミアム商品券、リフォーム助成等)を取るべきかは今後の政策協議の一つ。法人の売り上げ増加を図るのは商品開発や販路拡大等の地道な努力でありこうした中で対応して行く。

企画部

Q J-PARCの施設見学はどこへ、どれ位の規模で、いつ頃実施されるのか。

A 茨城県東海村、最大40名程度、子供が参加できるように8月20日から1泊2日の日程で計画している。



J-PARCの実験設備

Q A コープ古川店について業態を変えてとの報道があったが、市では今現在どの様な考えを持っているか。

A その地域にとつて有益なものを何かできないか検討されている状況。検討結果を待っている状況。

Q 市と新港郷の友好都市提携の締結にあたって、どのような交流をされていくのか。

A 青少年育成で高校生のホームステイ、観光交流の実施で、台湾での飛騨市ファンクラブの拡大、文化・自然・自治体交流で各種視察・勉強会の受入等々の実施、飛騨市からも台湾を訪れて飛騨市を知っていただく。

市民福祉部

Q 神岡の移動販売車は2台目の車を導入されるとのことですが需要は大きいようだが、当初の事業計画と比べてどうだったのか。

A 事業計画の具体的なことは数字では示されていない。運転手を御自分でされるようになった事が変更点。2台目も家族の方が運転される。事業者の方は地域を助けたいと



増車された移動販売車

の思いからの導入で、売り上げが上がるからではない。

Q 通常補助金を使う場合、事業計画が必要だと思うが、事業主が何とかやっていけるということに補助をし、できなかった場合どうなるのか。

A 補助の内容を見直すことを含め、必要な部分に手当てをしていくことを考えたい。

Q 1台目の補助は3分の1の上限100万円で、2台目が補助率2分の1で上限300万円に増える理由は。

A 初期投資が相当負担になる。2台目、3台目を考えるときに、初期投資の回収も難しい中で拡充を考えるのは難しい。そういったところをサポートするという思いで補助率を上げている。エリアの拡充に対して補助率を上げる。

Q 経営的に大変厳しいのではないかと考える。今後、市としてガソリン代の補助や赤字の多少の補填等をという考えは有るか。

A 現在運行経費として上限40万円の補助を行っている。この上限を引き上げるか検討を行っている。

Q マイナナンバーカードの普及率は、宣伝方法は。

A マイナナンバーカードを市役所の窓口で交付した件数は3月末で1617件。以前はいろんな会合で説明していたが現在は行っていない。啓発に力を入れていきたい。

Q 市全体で未満児保育の需要が増えている。年度途中で突発的に未満児の需要があった場合に受入出来るか。

A 未満児の需要把握をし、年度途中を見越して保育士を配置している。その範囲内で受け入れは可能。

Q 宮川の打保から河合の保育園へバスで通園する年少の小さな子供さんの負担になっていないか。保護者の了解を得ているか。

A 大変長い距離をバスに乗っていたらいてるが、3カ

月経過して負担になっているとか、保育に影響があるとかは聞いていない。

農 林 部

Q クアオルト健康ウォーキングのガイドには資格が要るのか。

A クアオルト研究所がガイドの養成を行う。こちらの講習を受けた方が専門ガイドになれる。この講習を受けることが要件。

Q 1回受講すればガイドをやっているのか。

A 有償ガイドは毎年継続して受講するのが義務要件。一般的な無償ガイドは自己研鑽で受講して頂く。

Q クアオルトウォーキングコースは朝霧の森と、年度内にもう1カ所との事であったが秋頃には決まるのか。

A 10月末から11月上旬にコースのお披露目イベントを予定しており、その時に発表したい。

Q ウォーキングコースの概要は。

A 距離的には1kmから2km程度の平坦な所に少し坂がある程度で、地形も変化に富ん

だ所。森林、川辺、薬草園など見て楽しめるコースを予定している。

Q 補正予算で125万円の事業費となっている。コース整備は太陽生命で費用負担されるとの事だが、予算の内訳は何か。

A 主にはクアオルトを推進するための事務員の人件費。事務員はガイドの取りまとめ等行う。先進地視察費用、手首に装着する血圧計等備品購入費。看板等については全て太陽生命側で設置する。

Q コースについて今年は2カ所だが、来年以降増やしていくのか。

A 現時点では決定していないが、増やせる箇所があれば検討したい。

Q 山之村の深洞湿原は、市で木道も作っており、場所は遠いが期間限定でコースにできないか。

A 国有林との協議が必要であるが、他県の事例も調査してクアオルト研究所に提案してみたい。

商工観光部

Q 飛騨市がロケ地の映画

「わさび」の上映は東京限定となっているが、他のエリアでの上映に対してこちらからアプローチ出来ないか。

A 今回配給元がなく、監督の裁量になるので、直接交渉で進めたい。

基盤整備部

Q 下野地区の急傾斜工事が完了し、新たに着手するという事だが、場所はどこか。

A 古川町内の谷地区で、避難所を対象に計画する。

Q 神岡スカイドームトイレの天井ガラスに今年の冬の雪の重みでひびが入り、これから修理との事だが、今までどうしていたのか。

A 雨漏りはしていない。破損が進行する前に修理する。

Q 基盤関係の要望書に対して何割くらい出来るか。

A 要望に対し2週間を目途に回答する。小規模なものほとんどん実施する。要望に対して実施できる割合については掴めない。

Q 毎年継続で出している要望については実施の見込を返答できないか。

A 実施できない理由は回答

に示している。状況によっては継続で出させていただくうちに対象にできる場合もある。

Q 土地購入費で県道の歩道改良の関係との説明だったが詳細について。

A 県道に接続する市道の未改良道路の部分の買収を行うものである。

教育委員会

Q 高校入試で全県一区との報道、実際この情報はどうか、教育長の所見は。

A 新聞報道は、方針段階で記者に述べたことが掲載されたもの。まだ協議段階という域を出ていない。保護者・生徒の立場から言えば選択肢が増え、ある面では良いこと。

飛騨市にとってはそれ程大きな影響は無いと考えている。飛騨神岡高校、古城高校の在り方というものが協議されているが、引き続き魅力のある高校づくりを進めて行かなければならない。この新聞報道後、保護者からの問い合わせはない。

Q 影響を受けるのは中学3年生。入試の説明会後に変更となると受験生に負担。余裕

を持ってやってほしい。

A 県内一区制のメリット、デメリット両面からものと議論しなければいけない。

Q 毎月どのくらいの聖地巡礼者があるのか。

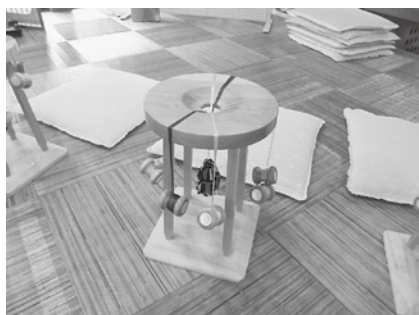
A 毎月5千人前後で推移。

Q 組紐体験の指導を行う方は何名で、何日間行われるか。

A 2名で、金土日の3日間、時間は10時から15時まで受け付け、16時クローズ、期間は12月までをめどに進める。

Q 伊賀市との文化交流の具体的な計画はあるか。

A 現在は組紐交流をしている。伊賀市とはユネスコ文化遺産登録での御縁もあり、将来的には飛騨市との文化交流、観光振興に繋がっていききたい。



組紐体験の用具

議会の傍聴にお越しください

9月定例会の予定

9月 4日 (月)	本会議 (開会、提案説明)
19日 (火)	本会議 (一般質問 1日目)
20日 (水)	本会議 (一般質問 2日目)
21日 (木)	本会議 (一般質問 3日目)
22日 (金)	常任委員会 (総務・産業)
25日 (月)	予算特別委員会
26日 (火)	決算特別委員会 (1日目)
27日 (水)	決算特別委員会 (2日目)
28日 (木)	決算特別委員会 (3日目)
10月 2日 (月)	本会議 (採決、閉会)

※日程は変更される場合があります。

全国市議会議長会

葛谷議長を表彰

東京国際フォーラムで5月24日に開催された全国市議会議長会第93回定期総会において、葛谷寛徳議長が長年の議員活動(16年)が認められ表彰されました。



編集後記

近年、高齢化と健康志向の高まりにより、全国的にウオーキング人口の増加が続く中で、自然豊かな飛騨市は、健康づくりのための環境にも恵まれていることを踏まえて、「太陽生命クアオルト健康ウォーキングアワード2016」に応募し見事優秀賞を受賞しました。

今後は、この受賞にともなう太陽生命からのさまざまな支援を受けながら、薬草、エゴマ、広葉樹のまちづくりなどの事業と連携し、市民の健康づくりとウォーキングを通じた交流人口拡大に取り組みます。

6月議会では、この事業の体制整備のために、125万円の補正予算が議決されました。その使途内容は、健康ウォーキングに必要な備品を整備するとともに、市民への普及や関連事業との連携を促進させるための専門職員を配置します。この事業により元気に長生きでき、医療費の減少に繋がればと願うものです。

(中嶋 国則)